

## 【添付資料】出演者・ゲストプロフィール

### 山崎育三郎



2007年にミュージカル『レ・ミゼラブル』のマリウス役に抜擢され、甘く気品のある歌声と抜群の演技力で数々のミュージカル作品に出演。2015年ドラマ『下町ロケット』（TBS系）真野賢作役で、一躍注目を浴び、2018年10月期ドラマ10『昭和元禄落語心中』（NHK総合）では、天才落語家助六役を演じ、『第14回コンフィデンスアワード・ドラマ賞』助演男優賞を受賞。ドラマや映画での演技以外に実写映画『美女と野獣』野獣役や劇場版『名探偵コナン 紺青の拳（フィスト）』レオン・ロー役で吹替えを担当。アーティストとしては、2016年カバーアルバム『1936 ～your songs～』が第58回日本レコード大賞企画賞を受賞。近年は連続テレビ小説『エール』（NHK総合）や大河ドラマ『青天を衝け』、映画『イチケイのカラス』、金曜ナイトドラマ『リエゾンーこどものこころ診療所ー』（テレビ朝日系）などに出演。5月からはミュージカル『ファインディング・ネバーランド』に主演ジェームズ・バリ役で出演予定。

### 明日海里お



静岡県出身。2003年、宝塚歌劇団に89期生として入団。華やかな舞台姿と、演技力を筆頭とする確かな実力で早くから注目を集め、2014年に花組トップスターに就任。5年半に及ぶトップ時代には、大ヒット作『エリザベートー愛と死の輪舞（ロンド）ー』、名作漫画初の舞台化となった『ポーの一族』などの話題作に主演し、宝塚歌劇を代表する一人として、その人気を牽引した。2019年の退団後は『マドモアゼル モーツァルト』『ガイズ&ドールズ』などの舞台のみならず、連続テレビ小説「おちょやん」ドラマ「コントが始まる」「DCU～手錠を持ったダイバー～」など映像作品でも活躍。今年1月期には話題を呼んだドラマ「大病院占拠」に出演、5月には日本初演のミュージカル『エリザベス・アーデン vs.ヘレナ・ルビンスタイン -WAR PAINT-』、7月には音楽劇『精霊の守り人』と2作連続で日生劇場での主演作が控えている。9月には20周年記念となるコンサートを東京・大阪にて開催予定。第41回『松尾芸能賞』優秀賞受賞。

### 木下晴香



1999年2月5日生まれ。佐賀県出身。2017年にミュージカル『ロミオ&ジュリエット』のジュリエット役でデビュー。以降、ミュージカルを中心に活躍する中、2019年には映画『アラジン』でプレミアム吹き替え版のヒロインのジャスミン役を演じ注目を浴びる。2021年には舞台『彼女を笑う人がいても』にて初のストレートプレイに出演。2021年第11回岩谷時子賞・奨励賞、2022年第47回菊田一夫演劇賞・演劇賞を受賞。主な出演作品に、ミュージカル『モーツァルト！』『銀河鉄道999 さよならメートル～僕の永遠』『ファントム』『王家の紋章』『プロデューサーズ』『ザ・ビューティフル・ゲーム』、音楽劇『夜来香ラプソディ』がある。2023年8月より放送予定のNHK BS時代劇「雲霧仁左衛門6」の出演が控える。

## 濱田めぐみ



福岡県出身。1995年劇団四季に入団、『美女と野獣』のヒロイン・ベル役に大抜擢される。『ライオンキング』『アイーダ』『ウィキッド』と初演三作品でヒロインを演じるなど、看板女優として活躍。2010年に退団。以後ミュージカルを中心に活躍を続ける。近年の出演作に、舞台『レ・ミゼラブル』（ローレンス・コナー、ジェームズ・パウエル演出）、『シャボン玉とんだ宇宙（ソラ）までとんだ』（小林香演出）、『サンセット大通り』（鈴木裕美演出）、『イリュージョニスト』（トム・サザーランド演出）、『アリージャンス〜忠誠〜』（スタッフォード・アリマ演出）、『オリバー!』、『メリー・ポピンズ』（リチャード・エア演出）、『COLOR』（小山ゆうな演出）、『バンズ・ヴィジット』（森新太郎演出）など。菊田一夫演劇賞、芸術選奨演劇部門文部科学大臣賞、読売演劇大賞優秀女優賞受賞。今後の出演予定として『ファインディング・ネバーランド』、『スクール・オブ・ロック』が控える。

## 涼風真世



宮城県石巻市出身。1993年『グランドホテル』で宝塚歌劇団を退団。代表作は『ベルサイユのばら』（オスカル役）、『Puck』（パック役）など。その後、舞台や映像、声優として幅広く活躍。主な出演作に、舞台：『ポーの一族』『モーツァルト』『エリザベート』『レディ・ベス』『ロミオ&ジュリエット』『レベッカ』『貴婦人の訪問』『イーストウィックの魔女たち』『アラバスター』『マディソン郡の橋』『マリー・アントワネット』。声優としてアニメ「るろうに剣心・明治剣客浪漫譚」（CX）では主人公、緋村剣心で声優として活躍。2021年40周年記念アルバム「Fairy～A・I～」を発売。2022年「Fairy～Time to Shine～」、2023年「Fairy 新たなる一歩」でライブ開催。第33回菊田一夫演劇賞を受賞。

## 昆夏美



洗足学園音楽大学ミュージカルコース卒。12歳から中学3年時まで、児童劇団「大きな夢」に主役で多数出演。2011年『ロミオ&ジュリエット』のジュリエット役でメジャー作品プロデビュー。『レ・ミゼラブル』（エポニーヌ役）、『ミス・サイゴン』（キム役）、ディズニー実写映画『美女と野獣』（プレミアム吹替版／ベル役）など多彩に活躍。その他の主な出演作に、【舞台】『マチルダ』、『雨が止まない世界なら』in Concert、『ネクスト・トゥ・ノーマル』、『ロッキー・ホラー・ショー』、『ドッグファイト』、『The Last 5 Years』、【TV】『グリーン&ブラックス』（WOWOW）、「アンラッキーガール」（NTV）など。13年『私は想像する』でアーティストデビュー。20年2月に主演映画『ぐるり1200キロ、はじまりの旅』がさぬき映画祭で公開。19年第10回岩谷時子賞奨励賞受賞。

## シルビア・グラブ



「Jerry's Girls」(1997年)で初舞台後は、「I GOT MERMAN」「INTO THE WOODS」

「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」「三銃士」「next to normal」三谷幸喜版「ショーガール」「ON THE TOWN」「パッション」「ロミオ&ジュリエット」「日本の歴史」「ジョゼフ&アメーzing・テカター・ドリームコート」など数々のミュージカル作品に出演。

「レベッカ」でダンヴァース夫人役を演じ、第34回菊田一夫演劇賞、三谷幸喜作・演出の「国民の映画」(パルコ劇場他)にて第19回読売演劇大賞 優秀女優賞を受賞し14年に再演。22年には第43回松尾芸能賞優秀賞を受賞。「メアリ・スチュアート」「カメレオンズ・リップ」(KERA CROSS)「ジュリアス・シーザー」「ラビット・ローズ」などストレートプレイにも数多く出演。

また、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にも出演した。

## 島田歌穂



1974年、子役デビュー。87年、ミュージカル『レ・ミゼラブル』初演で脚光を浴び、出演回数は1,000回を超えた。同作の世界ベストキャストに選ばれ、英国王室主催のコンサートに出演。参加した世界ベストキャストアルバムが米国にてグラミー賞を受賞するなど国際的にも高い評価を得る。他の主な出演作品は『ウエストサイド・ストーリー』『黙阿弥オペラ』『江利チエミ物語』『飢餓海峡』『ベガーズ・オペラ』『ピリー・エリオット』『メリー・ポピンズ』『ナイツ・テイル』『Endless SHOCK』など、ミュージカルからストレート・プレイまで幅広い。また、コンサートやアルバムリリース、ディズニー映画『美女と野獣』(17年)、『メリー・ポピンズ リターンズ』(19年)『魔法にかけて2』(22年)の吹替を務めるなど、女優、歌手として多岐にわたり活躍。芸術選奨文部大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞優秀女優賞など受賞多数。大阪芸術大学教授。来年、デビュー50周年を迎える。

島田歌穂WEBサイト <http://www.shimada-kaho.com/>

## 夢咲ねね



女優。富山県出身。2003年宝塚歌劇団に入団(89期生)。

月組に配属後、08年に星組に組替え、09年に星組トップ娘役に就任し『オーシャンズ11』『ロミオとジュリエット』等多数の話題作でヒロインを務める。

15年『黒豹の如く』『Dear DIAMOND!!』で退団した後は、ミュージカルを中心に、幅広いジャンルで活躍を続けている。主な出演作に、舞台：『8人の女たち』、『スワンキング』、『ポーの一族』、『笑う男 The Eternal Love-永遠の愛-』、『グレート・ギャツビー』、『1789-バスティーユの恋人たち-』、『サンセット大通り』、『東京ラブストーリー』、

『Ordinary Days』TV：「着飾る恋には理由があって」(TBS)、「警視庁捜査一課9係 Season12」(EX)など。23年5月に『ファインディング・ネバーランド』にて山崎さんと共演。

## 和音美桜



2001年「ベルサイユのばら 2001」で宝塚歌劇団に入団。2004年外部出演「WEST SIDE STORY」でヒロイン、マリアを演じる。実力派娘役として期待を集める中、2008年12月退団。

退団後は、ミュージカル『レ・ミゼラブル』ファンティーン役、『ルドルフ・ザ・ラストキス』マリー役、『レディ・ベス』アンブーリン役、『モーツァルト！』ナンネール役等で活躍。

## 新妻聖子



大学在学中の2002年、TBS「王様のブランチ」でタレント活動開始。2003年、5000倍のオーディションを勝ち抜き、初舞台でミュージカル「レ・ミゼラブル」エポニーヌ役を演じる。続くミュージカル「ミス・サイゴン」ではヒロインのキム役を演じ、豊かな声量と表現力で来日した海外スタッフからも絶賛された。

第31回菊田一夫演劇賞、第61回文化庁芸術祭演劇部門新人賞、第7回岩谷時子賞奨励賞を受賞。

2010・11年と2年連続でミュージカル誌が選ぶ女優部門第1位を獲得。

数々の舞台でヒロインを務めミュージカル界屈指の歌姫として第一線で活躍し、近年ドラマやバラエティ、歌番組等にも多数出演。

©Kazutaka Nakamura

## 宗本康兵（音楽監修・ピアノ）



3歳の時にクラシックピアノと出会い、音楽の道へ。

幅広いジャンルの音楽に精通し、アーティストやユーザーに寄り添った音を第一に考え、作曲、編曲、コンサート、テレビドラマやアニメーションの映像音楽など多岐に渡り活躍中。

プロデュースや作編曲したアーティストは、Uru、華原朋美、川嶋あい、Kinki Kids、DISH//、中島美嘉、中森明菜、ポルノグラフィティ、南野陽子、WANIMAなど多彩な顔ぶれとなっている。

近年では、山崎育三郎を始め、家入レオ、ももいろクローバーZほか数多くのバンドマスターも務めている。

## 田中祐子（指揮）



平成 30 年度（第 29 回）五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2020 年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。2018 年 4 月 - 2020 年 8 月、オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。東京音楽大学指揮科卒業。入学時に給費特待生として入学。東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。パリ・エコールノルマル音楽院オーケストラ指揮科高等ディプロム課程修了。指揮を尾高忠明、広上淳一、ドミニク・ルイスの各氏に師事。東京国際コンクール「指揮」入選、ブザンソン国際指揮者コンクール、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。2013 年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。これまでに、N 響、読響、東響、東フィル、新日本フィル、日本フィル、神奈フィル、山響、仙台フィル、札響、名フィル、大フィル、京響、九響等、全国各地のオーケストラと共演を重ねる。2015 年藤原歌劇団公演ヴェルディ：「椿姫」でオペラデビュー、2017 年日本オペラ協会公演 原嘉壽子「よさこい節」（於：

新国立劇場）、2018 年名古屋二期会公演 團伊玖磨「ちゃんちき」、2019 年 3 月日本オペラ協会公演創立 60 周年記念公演 三木稔「静と義経」、2021 年 12 月、アクリエひめじオープニングシリーズ 池辺晋一郎「千姫」（世界初演） に登壇するなど、オペラ指揮者としても着実に実績を挙げている。2015-16-17 年シーズン NHK 交響楽団首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ公式アシスタント。NHK-E テレ「クラシック音楽館」、「らららクラシック」や NHK-FM 「名曲アルバム」、日テレ「読響シンフォニックライブ」、テレ朝「題名のない音楽会」等、メディア出演多数。2022 年 4 月より名古屋音楽大学客員准教授に着任し、演奏活動と共に故郷での教育活動にも取り組む。

## 栗田博文（指揮）



1988 年、第 23 回東京国際音楽コンクール指揮部門において第 1 位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989 年に渡欧。同年、第 1 回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール（イタリア）に入賞し国際的な評価を確立。1995 年、第 1 回シベリウス国際指揮者コンクール（フィンランド）の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。  
栗田博文ブログ <http://hirofumi-kurita.com/>

## 山下康介（編曲監修）



1974 年、静岡県生まれ。東京音楽大学作曲専攻卒業。

映画「海辺の映画館～キネマの玉手箱」「花筐／HANAGATAMI」「その日のまえに」などの大林宣彦監督作品に多く携わるほか、NHK 連続テレビ小説「瞳」やドラマ「花より男子」、アニメ「ちはやふる」、特撮作品「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」、「仮面ライダーセイバー」、歴史シミュレーションゲーム「信長の野望シリーズ」などの音楽がある。

また、「題名のない音楽会」（テレビ朝日系）などにおいて多くの編曲を手掛けているほか、宮本亜門氏演出のミュージカル「太平洋序曲」「スウィーニー・トッド」などで公演音楽監督を務めている。

現在、洗足学園音楽大学教授、東京音楽大学客員教授。一般社団法人日本作編曲家協会（JCAA）理事。

©Shinsuke Yamamoto

## 札幌交響楽団

1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれ、2021年には60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。例年の年間公演回数は約120回。さらに小編成でのアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外ではこれまでにヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各地で好評を博した。歴代指揮者には、名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどがいる。現在、スイス出身の首席指揮者マティアス・バーメルト、名誉音楽監督の尾高忠明、友情指揮者の広上淳一、正指揮者の川瀬賢太郎を擁する。  
公式ウェブサイト <https://www.sso.or.jp/>

## 九州交響楽団

1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番《千人の交響曲》」「マーラー／交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹／「波の盆」』が使用された。

## 東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年には『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組や国民的番組『NHK紅白歌合戦』にも登場。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

## 大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。

1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。その後、曾我大介、大山平一郎、児玉宏、外山雄三の歴代シェフのもと、楽団は大きく発展を遂げてきた。また、2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時）樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。

楽団公式ホームページ (<https://sym.jp>) (2022年4月現在)

## セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年に創立40周年を迎えた。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮

が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトの夕べ、第九、超！有名曲シリーズ、W コンチェルトシリーズの他、2023年より新たにオペラセミステージシリーズを展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演する。海外では2007年中国内モン族自治区、2009年タイ・バンコク（文化庁国際交流支援事業）、2017年韓国・釜山（釜山マル国際音楽祭）で公演し成功を収める。

2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。

1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

公式ホームページ：<http://www.caso.jp/>